

や ま だ ん の
山 田 野

45

独立行政法人 国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末5963
TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

ごあいさつ



看護部長 田中 由利子

はじめまして。このたび国立病院機構北陸病院の看護部長を拝命いたしました田中由利子と申します。三重県津市にある三重中央医療センターから富山の北陸病院に赴任した初めての春は、4月としては珍しく13年ぶりの積雪となりました。開き始めた桜の花も、白い雪をのせてつぼみを固くし、戸惑っているようでした。雄大な立山連峰は白き峰を連ね、自然の厳しさを

私に教えているようで、着任の責務とともに身が引き締まる思いでした。1週間ほどすると日差しと暖かさが戻り、春を一気に呼び戻したかのように、広大な北陸病院の敷地内には多種の桜が咲き乱れ、モクレン、水仙、スミレなどの花々が一斉に輝き始めていました。鳥たちのさえずりを聞き、たくさんの命が息づくのを感じながら、カメラを片手にゆっくりと施設内の散策を楽しみました。

北陸病院は、この豊かな環境のもと、「生命と人権を尊重し、思いやりに満ちた医療を良心と誠意をもって実践します」を理念に掲げ、地域から求められる役割を積極的に果たしている病院です。医師をはじめ多職種がチームとなり、患者さんのために誠実に向き合っている姿に触れ、この病院の仲間になれたことをうれしく感じました。

さて、新しい年号も「令和」と決まり、今年は新たな時代の始まりとなります。北陸病院看護部にも新たな仲間を迎え、新年度がスタートしました。それぞれが令和元年をどんな1年にしていくか、夢をもって歩める1年にしてほしいと願っています。スタッフ個々の夢が大きな目標となって看護部を、病院をさらに発展させ、地域の皆様により愛される北陸病院にしていかれるよう、新任看護部長として精進していく所存です。皆様どうぞよろしく願いいたします。



自己紹介

第1精神科医師 相馬 大輝



南砺市のみなさんこんにちは。今年度の4月から、金沢大学より赴任し北陸病院にて精神科医として勤務させていただくことになりました、相馬 大輝と申します。出身は岐阜ですが生まれは母方の実家である砺波でして、卒業2年間の初期臨床研修も南砺市民病院にお世話になりました。いつか立派な精神科医となって、お世話になった南砺市に戻って来られたらと、密かに思っていました。思いの外早く戻って来られて、嬉しい反面至らない点があったらどうしようと、緊張もしています。とはいえ、今まで学ばせて頂いたことを存分にお返しできればと思います。精一杯働かせていただきますので、今後ともよろしくおねがいします。

事務部長 成田 博



4月1日付で三重中央医療センターから赴任しました事務部長の成田 博と申します。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

富山県には平成11年3月以来、20年ぶりの赴任となりますが、富山といえば、何といてもおいしいお米がまず頭に浮かびます。残念ながら、今では血糖値が高くなってしまった私としましては、お腹一杯ご飯を食べるのは控えなければならないのですが、それでもおいしいお米の産地で、なおかつ魚も新鮮なので、好物のお寿司がおいしくいただけるチャンスが増したのをうれしく思っています。加えて、実家が岐阜県北部なので、国立病院機構のなかで最も家から近い職場となったことについても喜んでおります。

さて、当院は精神科、神経科医療のセンター的役割を果たす病院として高い専門性を有する病院です。ひたひたと足音が迫る高齢化社会でニーズが増すであろう、認知症や神経科領域等の医療を担う病院に勤める者として、1日も早く仕事を覚え、当院の基本理念である『生命と人権を尊重し、思いやりに満ちた医療を良心と誠意をもって実践する』ことを念頭におき、頑張ったいと思っていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

院内認定重症心身障がい・強度行動障害看護師になって

西1階病棟 院内認定重症心身障がい・強度行動障害看護師 北村 三喜子

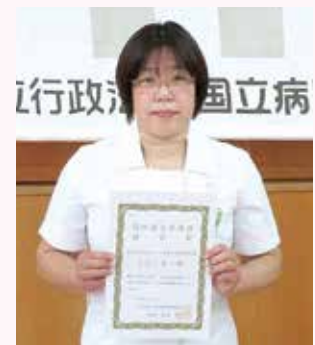
北陸病院の重症心身障がい者病棟には、重度の精神遅滞があり、家庭や施設での集団生活が困難な患者さんが入院しています。

看護師は、患者さんが楽しく日常生活を送れるように患者個々の疾患を理解することや、異常を早期発見する観察力、意思表示が出来ない患者さんの思いをくみ取るコミュニケーション能力、また、事故回避のための環境調整等、専門的な知識と技術をもって関わる必要があります。日頃、患者さんとの関わりの中で、患者個々の行動障害の複雑化や、患者さん

の加齢による障害の重症化によってその人らしい生活が少なくなっているように感じ、重症心身障がい・強度行動障害の専門知識や看護技術をより深めたいという思いから院内認定看護師を志望しました。

研修では疾患・看護・社会資源等の講義を受け、また、院外実習に行き実習施設の重心看護を学び、知識や技術の再確認と共に、院内認定看護師の活動を知ることが出来ました。

今後は、院内認定看護師として病棟のスタッフへ重心看護の情報を発信し、看護介入により、患者さんがその人らしい生活が送れることを感じてもらえる働きかけを行っていきたく思います。又、チーム医療を強化し、多職種それぞれが専門性を持って患者さんに関われるよう働きかけていきたく思います。





社会復帰にむけた支援

南2階病棟 看護師長 武岡 良展
ソーシャルワーカー 土谷 真美

精神科急性期、男女混合閉鎖病棟（南2階病棟）では、毎週月曜日にSST（ソーシャルスキルトレーニング：社会生活技能訓練）（以下、SST）というプログラムを開催しています。SSTとは、社会生活を送る上で必要なスキルを高めていくプログラムです。

例



社会で人と関わる時の
挨拶や礼儀について

何かを依頼したり断ったりといった
対人関係を良好に維持する関わり方

ストレス
対処

お薬の服用や
管理について

他、生活を営む上で必要な
内容を幅広く取り扱います。

今年度は看護師だけでなく、栄養士やソーシャルワーカーなど様々な職種とタッグを組み、患者さんの社会復帰に向けて力になれるよう取り組んできました。

今回、平成31年2月25日に、砺波地域障害者自立支援協議会の相談支援ワーキングの方々には協力を仰ぎ、SSTの一環として精神障害者地域移行（退院）支援勉強会を開催しました。

SSTの参加を希望された14名の患者が集まりました。最初に外部の相談支援専門員より、退院後の地域生活を応援してくれる人の紹介や福祉サービスについてわかりやすくお話をいただきました。次に、実際に精神疾患と付き合いながら社会で生活しておられる方からの体験談として、地域生活で楽しいことや困ったことなどのエピソードを交えてお話をいただきました。お話の後には、お薬管理のことやアルコールなどの嗜好についてなどたくさんの質問が続き、SSTに参加された患者さんの社会復帰への関心がうかがえました。実施後には、またお話を聞きたいという意見がたくさん聞かれ主催者としてうれしく思います。今後も患者さんの社会復帰が実現するよう創意工夫をしながら支援を続けていきたいと思っております！



外来担当医表

項目	月	火	水	木	金
精神科（初診）	石橋・坂本	前田・坂本	池田・白石	松下・白石	市川・石崎
精神科（再診）	松下・前田（相馬）	白石・池田	石橋・松下	市川・相馬	池田・前田
脳神経内科	吉田	小竹	吉田	吉田・小竹	小竹
内科	渡辺	渡辺	中村（渡辺）	（渡辺）	（渡辺）
心療内科				白石	
睡眠外来（初診）			細川	細川	
睡眠外来（再診）	吉田	細川	細川		
専門外来	もの忘れ外来（吉田・坂本・市川・池田） パーキンソン病外来（吉田・小竹） 遺伝カウンセリング外来（小竹） 認知行動療法外来（うつ、不眠）（白石）		重症心身障害児<者>外来（石崎） 禁煙外来（白石） 認知症セカンドオピニオン外来（吉田）		
<p>●診察は完全予約制となっております。地域医療連携室にご相談ください。</p> <p>●受付時間・・・8:30～11:30 診療時間・・・8:30～12:00</p> <p>【地域医療連携室 直通電話】 0763-62-1950</p>					

ボランティア募集

当院では、患者さまの余暇の充実を図るため、ボランティアの募集をしています。

活動内容

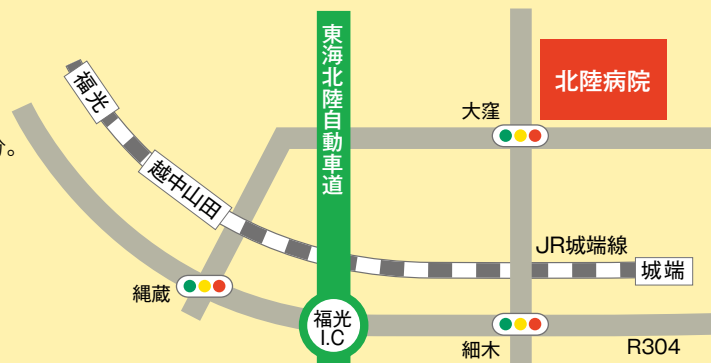
草刈り
etc

病院行事時の
車椅子送迎・介助

問い合わせ先 地域医療連携室 直通電話 0763-62-1950

【交通アクセス】

- ◆交通機関
JR城端線、城端駅より、タクシーで約5分。
- ◆高速道路
東海北陸自動車道、福光ICより約5分。
- ◆南砺市コミュニティーバス
JR城端駅・福光駅より出ています。



独立行政法人 国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末5963

TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hokuriku/>

認知症疾患医療センター

睡眠医療センター

【編集・発行】北陸病院

【広報担当】池田・坪井・今泉・坂本